

大船渡湾内観測結果(No.10)

“今月の話題”

湾内の水温は7～9℃台であり、例年よりも1℃程低くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月と比べて低めでした。

1月24日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

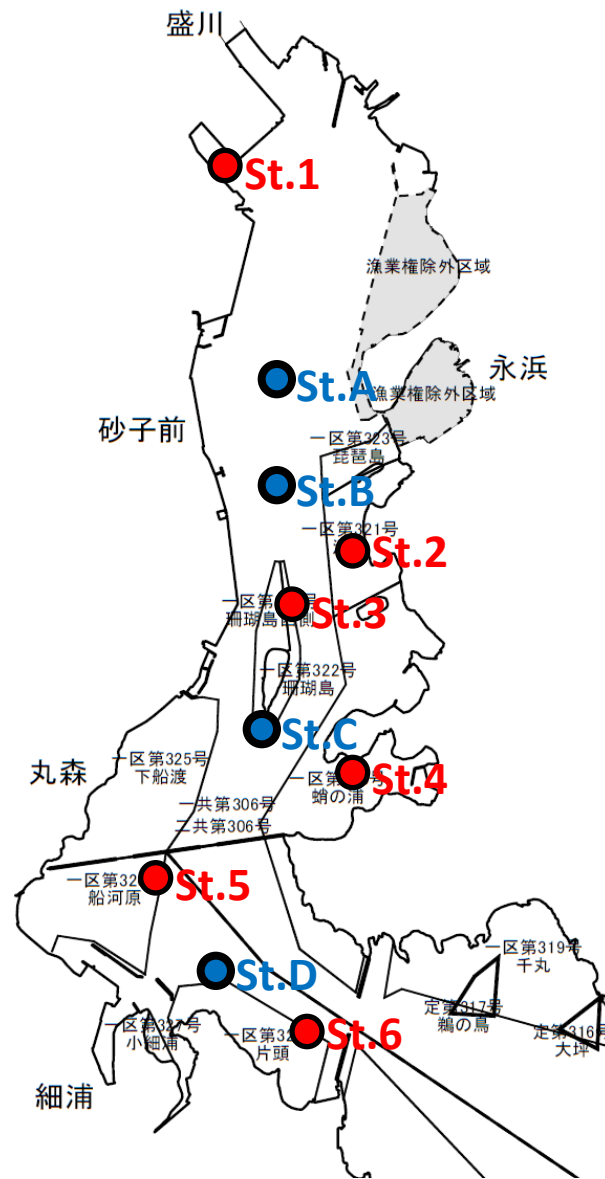
透明度は7.5～12.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-1.5～+1.0mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが7.6～9.0℃、水深10mが7.8～9.0℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-1.0～-0.3℃、水深10mが-1.2～-0.2℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年1月24日					
観測時刻		11:28	11:48	11:03	10:44	10:27	10:07
天候		曇					
気温(°C)		-2.4					
風向		NNW					
風力		3					
水深(m)		9.1	24.1	27.5	19.3	25.6	37.6
透明度(m)		7.5	12.0	11.5	12.0	11.5	11.5
水色		5	3	4	3	4	4
水温(°C)	表層0m	8.6	7.7	7.9	7.5	7.8	7.8
	水深2.5m	9.0	7.9	8.0	7.6	7.9	7.8
	水深10m	-	8.8	9.0	8.9	7.8	7.8
	海底上1m	9.5	9.2	9.2	9.0	9.2	9.2
塩分	表層0m	33.4	33.2	33.1	33.3	33.3	33.4
	水深2.5m	33.7	33.4	33.3	33.4	33.4	33.5
	水深10m	-	33.7	33.8	33.7	33.5	33.5
	海底上1m	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	93.2	95.6	95.2	94.6	94.8	95.5
	水深2.5m	92.6	95.1	95.1	94.9	95.1	95.7
	水深10m	-	96.6	96.5	96.2	95.4	95.8
	海底上1m	92.4	96.5	95.8	96.2	98.8	98.8
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4
	水深2.5m	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5
	水深10m	-	0.7	1.2	0.7	0.5	0.5
	海底上1m	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7	0.7



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

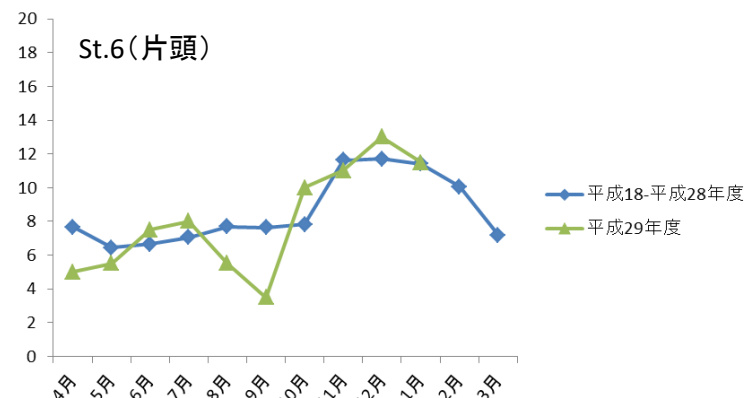
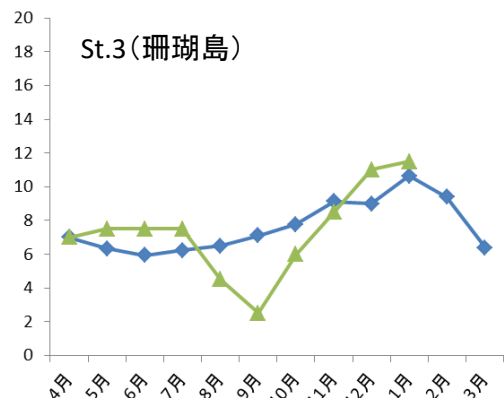
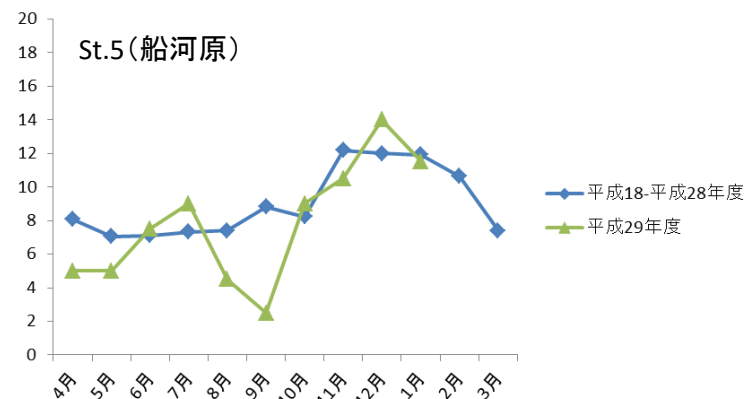
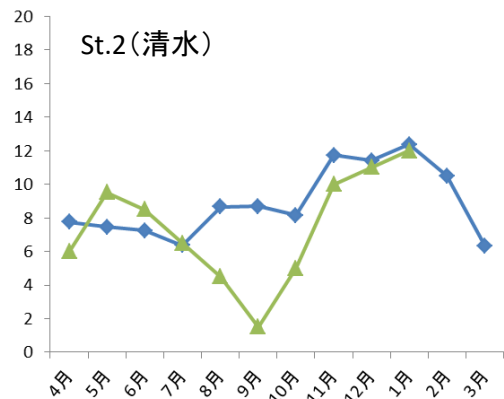
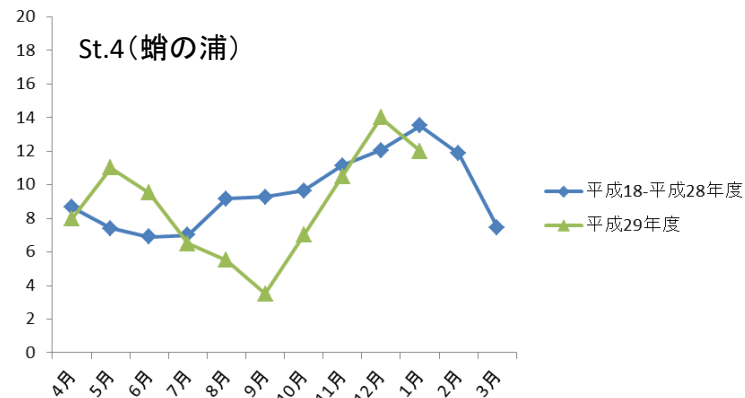
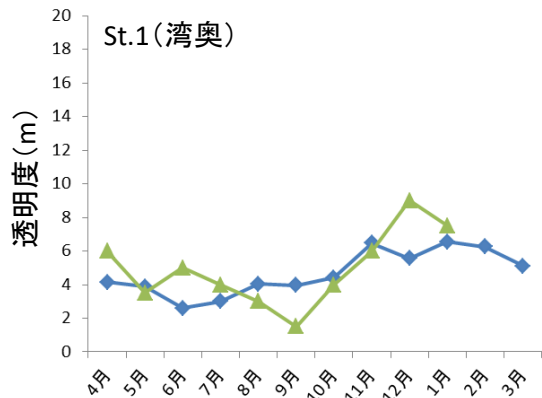


図2 透明度の推移

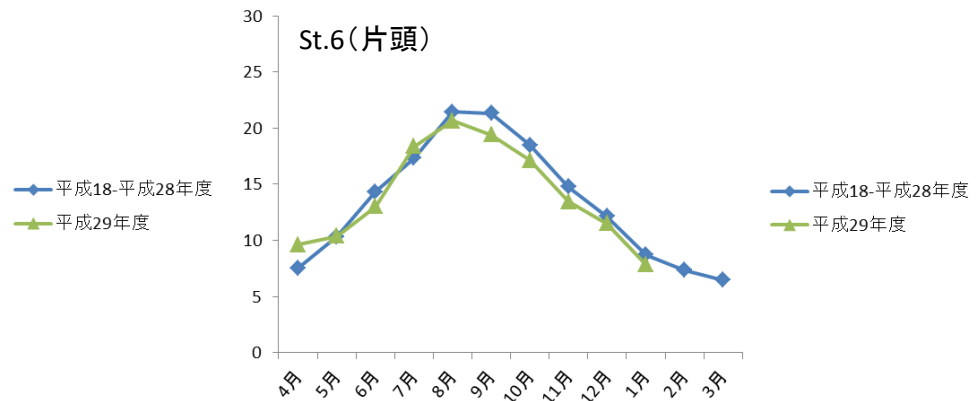
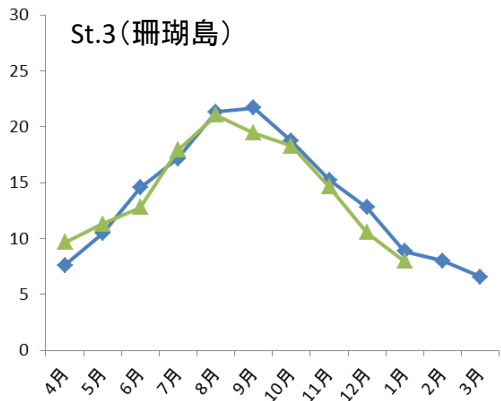
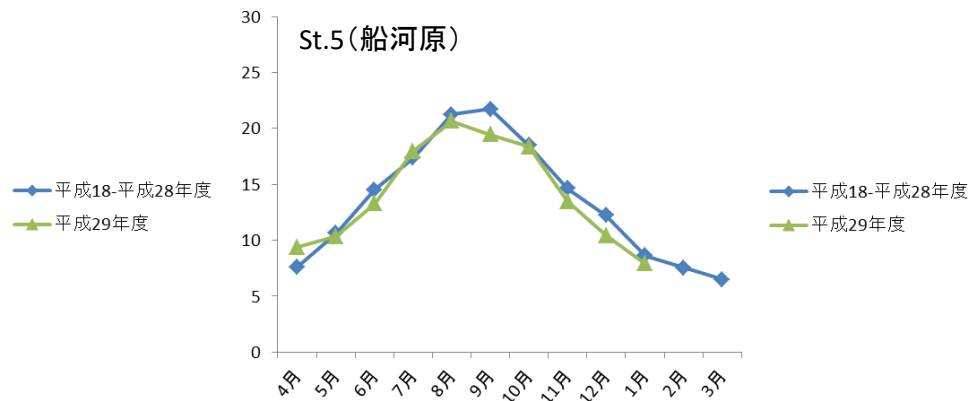
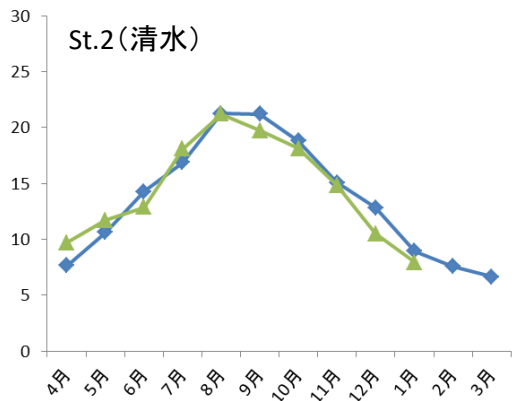
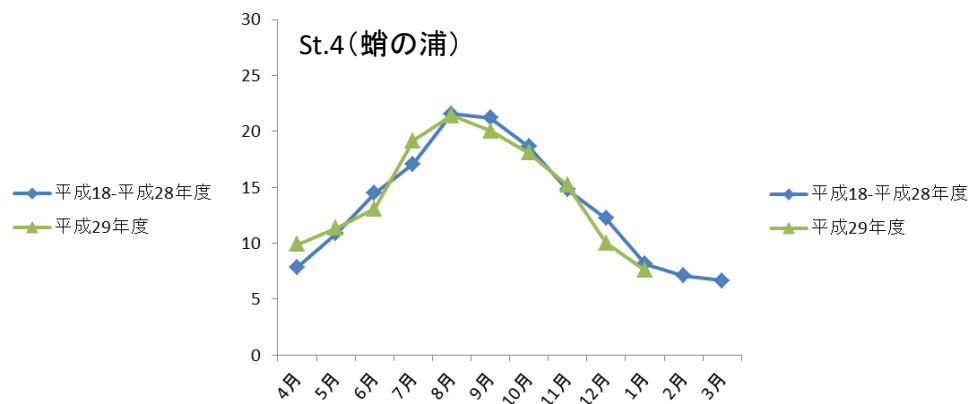
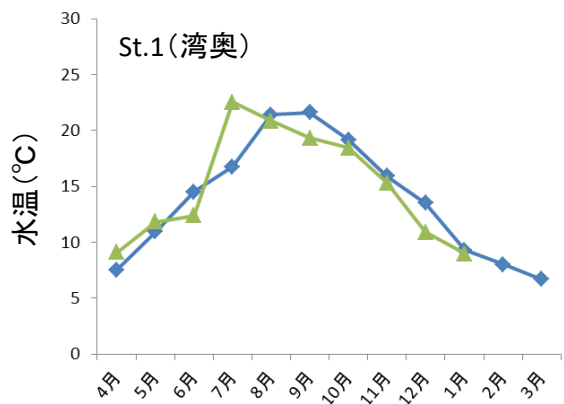


図3 水深2.5mの水温の推移

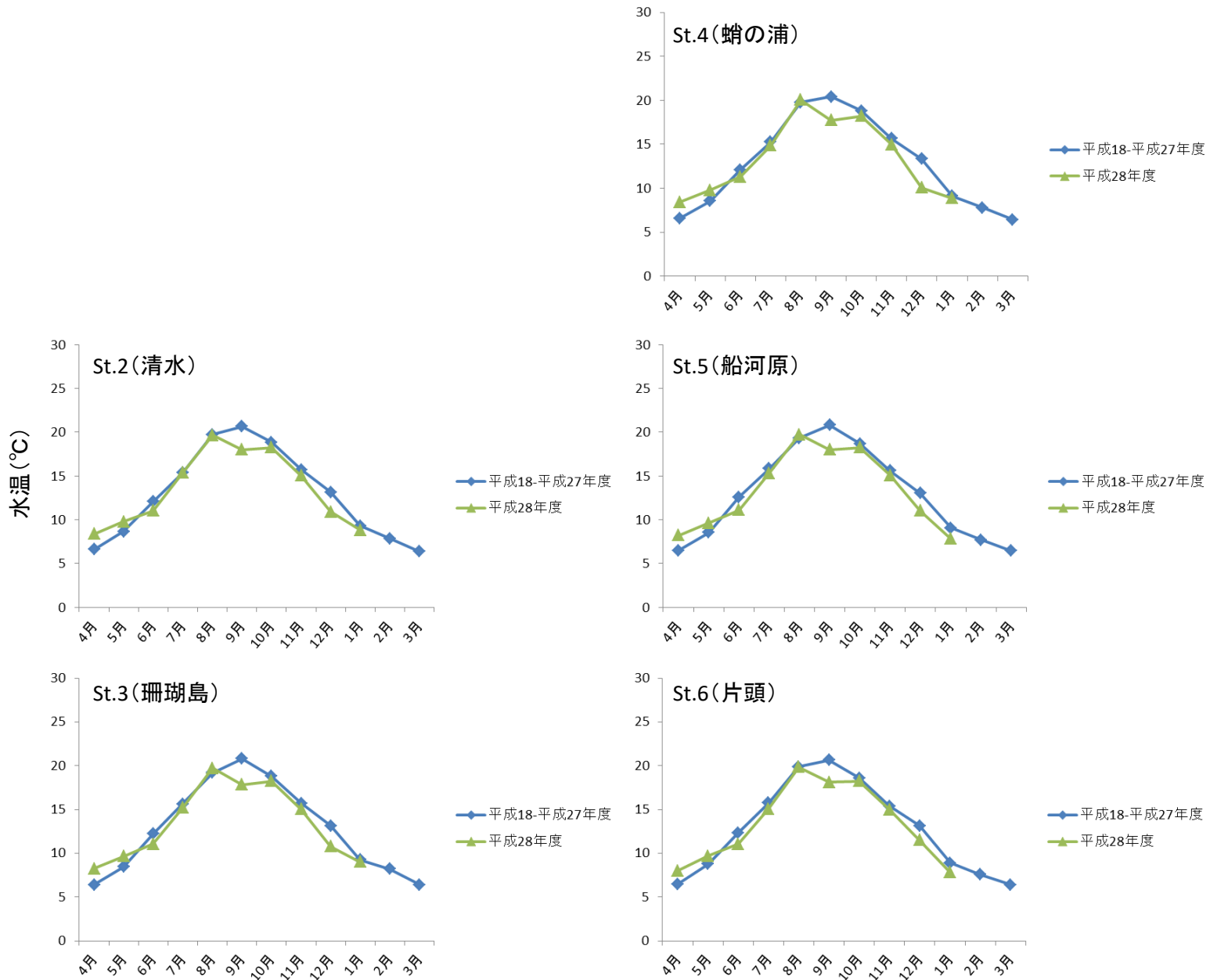


図4 水深10mの水温の推移

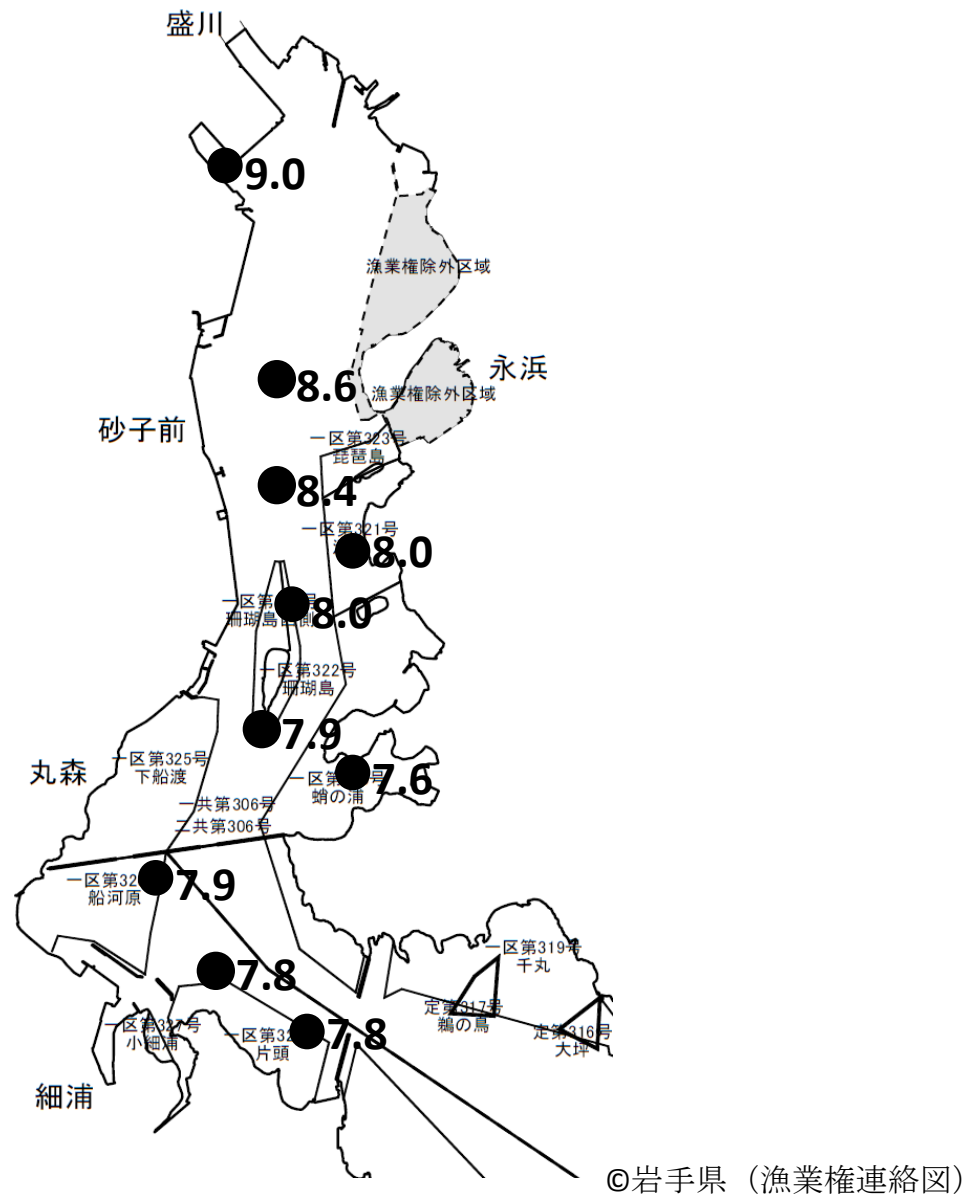


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

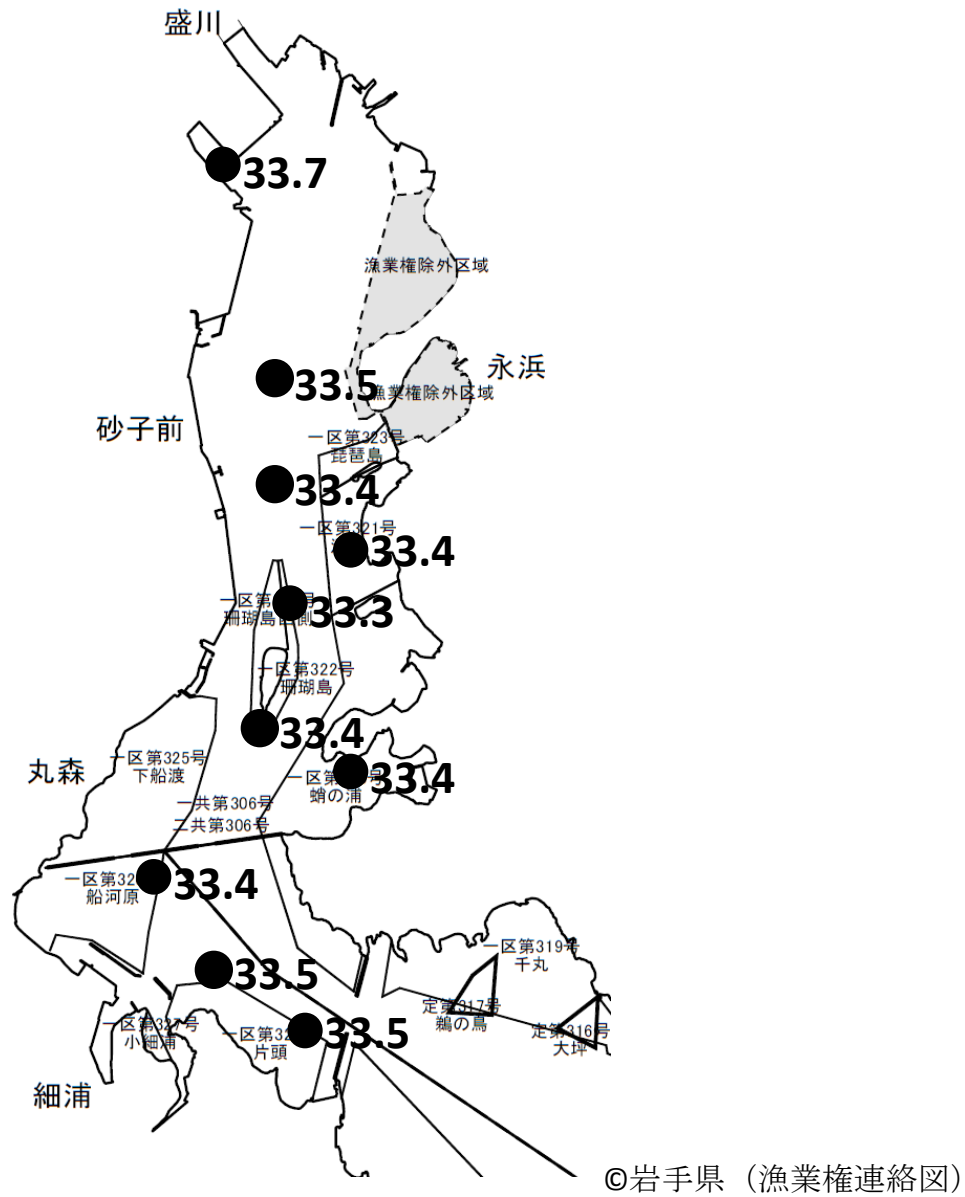


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

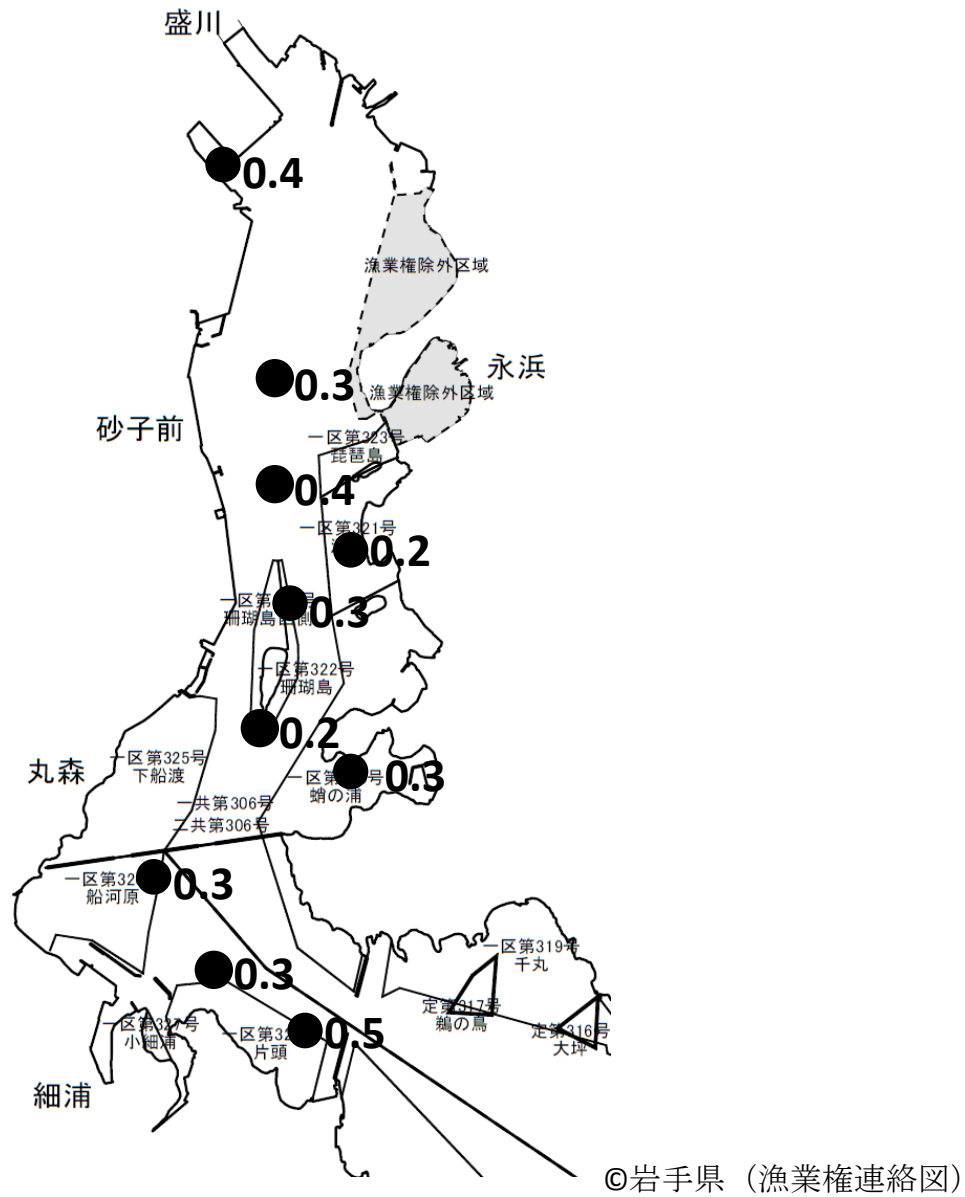


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。